

◆テーマ①:【農林水産業と通い農業・副業の相性の良さ & 魅力】

相性の良さ



柔軟な労働時間・シーズン制

農林水産業は、季節や天候によって作業が変わるため、他の仕事との兼業がしやすい。



来訪者の体験価値向上

農業体験を含む観光プログラムは、訪問者にとって新たな体験価値を提供し、地域に対する興味や満足度を高める。



地域社会とのエンゲージメント強化＝関係人口の創出につながる。



楽しみながら新奇性のある旅ができる。

JTBの
例

旅先でのワーケーションで地域のチカラに

“JTB アグリワーケーション®”

～旅行も仕事も、農業にも挑戦しよう！～



旅行で
農業！

自然たっぷり
ワーケーション

観光・旅行
温泉を満喫

地域との交流
地方創生に貢献

CSR

働き方
改革

AGRICULTURE



×



TOURISM

企業経営
課題

ESG
投資

SDGs

健康
経営

副業

- ✓心と体の健康
- ✓持続可能な農業・漁村・地域社会への貢献
- ✓食の尊さ、食品ロスへの貢献
- ✓農作業＝チームビルディング
 - 社員コミュニケーション
 - 組織力向上
 - モチベーションの向上
 - 帰属意識向上
 - 公私の切り分け

◆テーマ①:【農林水産業と通い農業・副業の相性の良さ & 魅力】



魅力



新たな学びと経験が積める



コミュニティへの貢献



精神的な満足感が得られる

自然との触れ合いを通じて、都市部では得られない心身の満足感が得られる。



JTBの
例



農業労働力確保支援事業

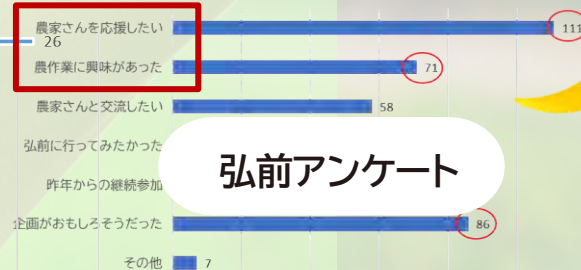
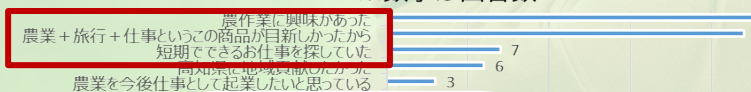
高知県 アグリワーケーション
～ゆず(北川村)、ポンカン(東洋町)収穫～



■ご参加の経緯(アンケートより、複数回答あり)

※数字は回答数

Q2. 援農ボランティアツアーに参加した理由は何ですか？(複数選択可)



高知アンケート

弘前アンケート

Q. ツアーに参加した理由は？

弘前上位. 農家さんを応援・交流したい



高知上位. 農作業に興味があった

農業 + 旅行 + 仕事という商品が目新しかったから

需要



MATCHING

需要

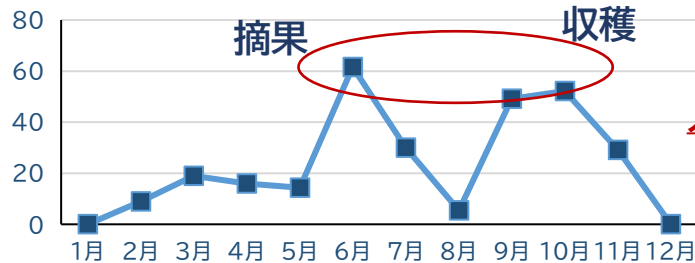


議題1 農林水産業と通い農業・副業の相性の良さ・魅力

例：弘前市(りんご)の場合

■りんご農家

・りんご(品種:ふじ)の月別労働時間



労働ピークは
人手確保に苦慮

- ・週に一度だけでも人手が欲しい
- ・初めてでも出来る作業がある
- ・人手不足は地域課題である

- ・他業種との交流がいい刺激となる
- ・一体感が生まれて嬉しい

摘果



収穫



■ボランティア・アルバイト

- ・休日に副業がしたい
- ・農作業は未経験
- ・企業としてCSVを検討

- ・自然に触れることでリフレッシュ出来る
- ・農作業に没頭するのが楽しい
- ・農家さんとの交流によって地元愛が生まれる

相性○



議題 1：農林水産業と通い農業・副業の相性の良さ・魅力

◆企業×農業副業

企業：**企業の地域貢献**、**農業副業許可ハードル低**（労働時間管理、競合等による情報漏洩リスク等）

社員：非日常体験による**心身のリフレッシュ効果**

生産者：**農繁期の補助労働力確保**、所属企業が明らかであることの安心感、心理的ハードル

企業



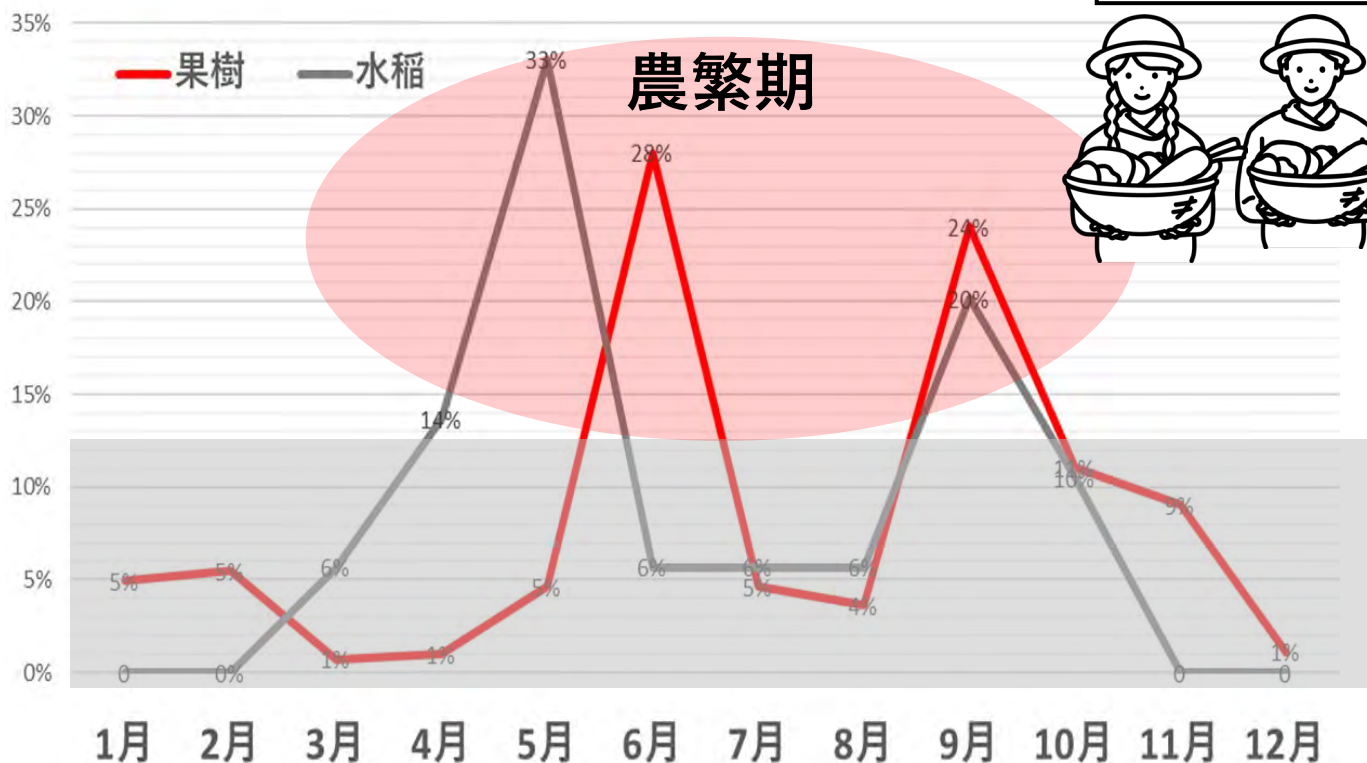
- ・ 情報漏洩リスクなど低
- ・ 農業は労働時間通算適用対象外

社員



- ・ 農作業を通じた地域貢献
- ・ 非日常業務による心身への刺激

生産者



企業連携：農的関係人口創出プログラム

【概要】

企業人による援農の一環で、農繁期に合わせ、農体験を組み合わせた地域課題ワークショップを開催。
県外エリアからの企業人の呼び込みと、地域交流による関係人口創出を目的につなげる。

【2024年プログラム実施例】

- 6月 山形県天童市 さくらんぼ（1泊2日×2回）
- 7月 長野県須高エリア ぶどう（1泊2日×1回）
- 10月・11月 山形県山辺町（日帰り×2日）
- 10月 長野県飯綱町：ウェルビーイングプログラム（農作業によるストレス測定等）
- 10月 山形県天童市（日帰り×2日）
- 11月 長野県飯田市（1泊2日）、青森県弘前市（1泊2日）

関係人口創出効果

- ・実施後の再訪問（地域ファン化）
- ・訪問時の地産品の購入
- ・後日、ECサイト等での地産品購入
- ・ふるさと納税実施
- ・参加者の農業や農産品への価値観の変化

午前：移動



1日目

13：00～17：00

農作業地域課題FW



17：30～19：30

地域意見交換会



2日目

08：30～12：00

デイワークで農作業



後日

首都圏や現地での
催事や、交流会など開催



農作業によるストレス低減効果

【プログラム概況】

● 順天堂大学によるストレスホルモン値調査 検査タイミング

- ・ 平時のオフィス
- ・ 当日の参加前
- ・ 農作業後

飯綱町内の見学、各企業でできる町への地域貢献策についてのワークショップ



農作業前後でのストレス値の変化の測定



企業の課題

生活習慣病やメンタル不調など、心身の健康に不安のある社員を抱える中で、社員ひとりひとりのWell-beingの実現が企業の成長につながる。
社員の心身の健康増進へ向け、有効な健康経営を推進する策が必要。

健康の三大要素

運動

栄養

休養

=

農作業

食事

睡眠

農業がもたらす効果

太陽を浴び、土に触れ、自然の中で体を動かす

収穫した農産物を調理し、食すこと
食生活を見直すヒントが得られる食育プログラム

心地よい疲れの中で良質な睡眠に

企業が農業に関わることで社員の健康づくりを実現し、
健康経営、環境経営、SDG'sを推進。
企業価値の向上へ